

ワケ カタチには理由がある(107)

Shape follows Function
& Taste

～川西航空機 水上戦闘機 強風 (NIKI)



[雷電と(両方とも火星エンジンのせいで太い)→]

日本海軍の水上戦闘機 強風は、太平洋戦争の開戦時、戦線を太平洋の島々に拡大したのに伴い滑走路無しで戦闘機を駐在可能なことを理由に、海軍が川

西航空機に開発を指示した機体です。零戦を改造した二式水上戦闘機がありますが、この強風の戦線投入までのツナギとして応急的に開発された機体だったようです。本機体は 1942 年 5 月に初飛行していますが、なにせ大きなフロートがぶら下がることになるため、そもそも戦闘機として大きなハンディがあり、米海軍が強力な機動部隊を投入すると水上戦闘機というカテゴリー自体が消滅してしまします。もっとも、雷電と同じ金星エンジンを搭載した太い胴体と、試作機に取り付けられた二重反転プロペラは模型映えする美しい機体です。30 年以上前ですが長距離ドライブしてペンシルバニア州ウィロウグローブ基地に、写真を撮りにいったのは良い思い出です。



【模型について】

[フェンス越しに撮った強風(撮影筆者)→]

ハセガワ(Hasegawa)の 1/72 のインジェクションキットです。これ以前に高品質のメカドールのレジックキットがありましたが、ハセガワは台車を付属させて、強風ファンとしてはありがたい存在となっています。なお、牽引車は小松製作所が株主優待に配った同スケールのブルドーザーのミニカーを改造して(ドーザーを取っただけw)リペイントしたものです。(中川裕幸 2024 年 7 月、改定 11 月)